

vol.
30

わかば 通 信

社会福祉法人 能登福祉会
URL: <http://www.homewakaba.com>

〒926-0014 石川県七尾市矢田町22号七株田12番地5
TEL.0767-53-8700(代表) FAX.0767-53-8715



あっとほーむ若葉
『やさしい鬼たち』
じゃんけんチャレンジで甘納豆をプレゼント

介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8701 FAX.0767-53-8715

養護老人ホーム あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8702 FAX.0767-53-8716

短期入所生活介護 特別養護老人ホーム あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8701 FAX.0767-53-8715

居宅介護支援事業所 あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8703 FAX.0767-53-8718

訪問介護 ヘルパーステーション あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8704 FAX.0767-53-8718

七尾市在宅介護支援センター あっとほーむ若葉
TEL.0767-53-8713 FAX.0767-53-8717

通所介護 デイサービスセンター あっとほーむイースト
TEL.0767-53-6690 FAX.0767-53-6691

通所介護 デイサービスセンター あっとほーむウエスト
TEL.0767-54-0477 FAX.0767-54-0551

小規模多機能型居宅介護施設 あっとほーむコモド
TEL.0767-59-1290 FAX.0767-59-1291

小規模多機能型居宅介護施設
サービス付き高齢者向け住宅 あっとほーむレガール
TEL.0767-53-0071 FAX.0767-53-0072



『食べるのもったいない』

あっとほーむウエスト
お菓子の可愛さに笑顔がこぼれ



『今年の運は…？』

あっとほーむイースト
新春行事で運試し



『手作りうちわで涼を感じて』

お祭りにむけ染色したオリジナル
うちわ

PHOTO CONTEST

フォトコンテスト



『ご夫婦で和の装い』

あっとほーむレガール
納涼祭を浴衣姿で楽しんで



『いつまでも笑顔で仲良く』
あつとほ一む若葉
だるまにコロナ収束の願いをこめて



『これからもお元気で』
あつとほ一む若葉
100歳を一緒にお祝い



『ねらわれた鬼』
よく見ると背後から…



『タイトルは「感謝の花」』
あつとほ一むコモド
華やかなクイリングができました



あつとほ一む ウエスト

デイサービスを 利用できる日が増えました

利用者さん・介護者の皆様の
さまざまな生活スタイルに対応
できるように、土曜日の営業を

開始しました。

お食事は、中能登町にある道の駅「織姫の里な
か」と「さんの特製弁当を提供しています。土曜
日限定の味で、利用者さんに喜ばれています。

ご友人と手作業やレクリエーションを通して交
流を楽しみ、ウエストに来る日を心待ちにされて
いる方も多く、「ウエストには友だちがいっぱい」
と話される利用者さんもおられます。

利用者さんやご家族のご都合に合わせて、利用
される日を土曜日に振り替えることができて大
好評です。

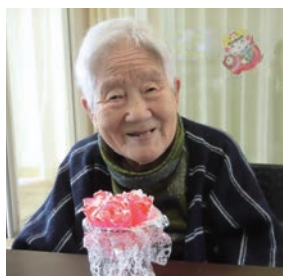
「土曜日やつとるの?」「もう一回来たいわ」と
いう声を頂き、利用者さんの利用回数も増え、そ
のお友達からも、「それなら私も来たいわ」と
お友達の輪がどんどん広がっています。



あつとほ一む コモド

人生の先輩にインタビュー 100年を歩んで

勝木琴様にこれまでの歩みに
ついてインタビューさせていただきました。



勝木 琴様

大正10年生まれの100歳。富
山県氷見市のご出身。18歳で七
尾市佐々波町に嫁ぎ、大敷網を
自営されました。事業を営むか
たわら、婦人会や地域の世話役
として活躍されてきました。

職員 勝木さんは昔どんな仕事をされましたか?

勝木様 夫(故多計男様)が「佐々波鰯網(ぶりあ
み)」を興しました。私はそこで魚の分別をする仕
事をしていました。マグロやブリ等沢山捕れまし
た。そして家事や子供の世話をしてきました。

職員 当時一番嬉しかった事は何ですか?

勝木様 やはり魚が沢山捕れた時です。ブリの刺
身が一番好きで、焼いても美味しい(笑)。

職員 一番思い出す事は何ですか?

勝木様 夫が兵隊に行った時、とても寂しかった。
嫁に來たばかりで知り合いもいなかった。姑さ
んの体が弱くて、小姑達がいつも「お姉さん、お
姉さん」と呼んで支えてくれて、助かりました。

職員 お子さん方に何か伝えたい事はありますか?

勝木様 子供達がお父さんの跡継ぎをしてくれた
ので、感謝しています。

職員 ご主人が地元組織を作られて、地域の人
たちが感謝の気持ちで佐々波漁港にご主人の銅像
を建てられましたね。

勝木様 はい、そうです、海に向かって。寒いね。
マフラーでもかけようかなあ(笑)。

インタビュー終了時、小姑娘さんへの感謝からか、
ご主人への思いでしょうか、その目には涙があふ
れそうでした。100年を歩んできた人生で色々
なことを感じてこられてきたことを少しではあり
ますが受け取ることができました。

「コモドでの日々が楽しく、幸せを感じて頂けま
すように、職員一丸となり頑張りたいと思ってい
ます。」

あつとほーむ イースト

東湊小学校との交流 「サプライズプレゼント」

あつとほーむイーストでは、東湊小学校の児童と定期的に交流を行っています。世代交流が少なくなっている昨今、子供たちの元気なパワーと無邪気な笑顔は癒しであり、利用者さんにとって大きな力になります。

11月20日の贈呈式で、東湊小学校代表の2名の児童から古タオルと古着の寄贈を受け、イースト代表の2名の利用者さんが受け取りました。利用者さんは、この日のために手作りしたタペストリー風の壁掛けをお礼にプレゼントしました。

コロナ禍で東湊小学校のかわいい子供たちとの交流が出来ず、寂しい利用者さんたち。贈呈式だけのはずでしたが…

コロナ禍の中でも 自分らしい生活を

あつとほーむ 若葉

養護老人ホームは、利用者さんが自立した日常生活を送れるように支援する福祉施設です。

あつとほーむ若葉の元気な利用者さんは、日頃から最寄りのコンビニエンスストアや市内の商業施設にお出かけし、ご自分の生活に必要な品物を購入されています。

しかしながら昨今のコロナウイルスが感染拡大している状況下では、これまで通りのお買い物が困難となっているのが現状です。

利用者さんにとってお買い物に出かけることは、必要な商品を購入するだけでなく、外の空気が景色を楽しまれたり新しい情報に出会う大切な気分転換の場であり、日々の生活の潤いの一つでもあります。最大限の感染予防対策を維持しながら、このお出かけの機会をなんとか提供出来たら…そんな思いから、令和2年7月より外出支援サービスを開始しました。

平日限定で、密を避けるため1日につき定員3名までとし、予約された利用者さんに職員が1対1で付き添い、最寄りのコンビニエンスストアへお出かけします。

とっても嬉しいことが起こりました!!
3年生の子どもたちからのビデオレターと作品を頂いたのです!

後日鑑賞会を行い、合唱や朗読をしてもらっているビデオを見て、本当に心温まった利用者さんたちでした。

東湊小学校の生徒さん、先生方、PTAの皆様、本当にありがとうございました!



外出時にはマスクの着用を徹底し、お出かけ前後の手洗い・うがい・消毒なども職員がそばで見守り、時にはアドバイスをしながら感染対策にも最大限の注意を払っています。

以前の生活に比べると不自由な部分もあるかもしれませんが。そんな中にあつても、職員と共に並んで歩きながら眺める景色や、相談しつつ商品を選ぶ行程の中にも新しい刺激があり、楽しみが生まれているのもまた発見の一つです。

マンツーマンで効果的な手洗いや消毒の方法をお話できる機会にも繋がっており、利用者さんのQOLを維持しつつ、衛生管理への意識の高まりも感じている今日この頃です。

冬季は足元が悪いことから残念ながら外出支援を一旦休止していますが、雪解けの季節を迎え、暖かくなったらまた皆さんが笑顔でお出かけできる場をご用意したいと考えています。

また、年齢や体の都合で外出が難しい利用者さんへも、中島ストアーさんや、とくし丸の1号車さん、中山薬局さんなど市内のお店に協力をお願いし、配達に来てもらうことで買い物を楽しむことができています。

願わくば、この長く苦しい辛抱の日々から一日も早く解放され、自由に外出できるその日を早く迎えたいものです。

あつとほ一む 若葉

ソーシャルディスタンスを 保つ中での行事の工夫

現在コロナウイルス感染症対策として、重度の介護が必要な方々の暮らしの場である特別養護老人ホームでは、外出支援を中止とさせて頂き、感染防止に努めています。

そのような中でも、少しでも利用者さんの気分転換となるよう、多職種で協力して外食風ランチや喫茶を実施し、楽しみや活力となるよう取り組んでいます。

市内の飲食店などからご希望の食事やスイーツをデリバリーしてもらい、七尾湾を一望できる見晴らしの良い場所で見食風景を楽しみながら外食気分を味わって頂いています。

また、座席は感染対策のため一方を向き、間隔を空けて座って頂くように対応しています。外食風喫茶を行うことで利用者さんからは笑みもあれば、コロナ禍での苦痛な日々も忘れさせてくれる気がします。

今後も利用者さんにとって楽しみがあり、安心できる暮らしを提供していきたいと思っています。



技能実習生としてチャンさんが仲間入り

ベトナムから技能実習生としてグエン・ティ・テュイ・チャンさんが、12月に特別養護老人ホームに入職しました。

チャンさんは、日本国内でコロナウイルスの感染が拡大したため、入国制限があり数カ月ベトナムで待機していました。私たちはオンライン面談で、先輩の技能実習生とともに彼女が安心できるように応援していました。

11月によく日本へ入国できましたが、国の感染対策のため、大阪で2週間の隔離生活を送りました。難しい状況の中でもオンラインで入国後研修を受け、継続して学習をこなし、相当の苦労だったかと想像します。困難を乗り越えて私たちの施設に来てくれたことに本当に感謝します。



グエン・ティ・
テュイ・チャンさん

- ・なぜ日本に行きたいと思ったのですか？
日本が好きです。日本人の働き方を勉強したり、新しい生活と仕事に挑戦したいと思ったからです。
- ・日本で楽しみたいことは？
文化と料理について体験したり、名所を観光したいです。
- ・自分の性格は？
几帳面で楽観的ですが、少し人見知りをするます。
- ・日本に来て驚いたことは？
雪を初めて見て驚きました。私の想像とは全然違いました。雪が積もり凍結し、寒いうえに滑りやすく、通勤が大変でした。
- ・好きなことは？
旅行と音楽を聴くことです。
- ・ひとこと
日本へ来たことは、私にとって大きな挑戦でしたが、自分が成長するために良い機会です。いくら大変でもあきらめません。日本で仕事がよくできるようになり、日本語能力試験に合格し、新しい友達を作れるように頑張りたいです。

何事にも真摯な姿勢で取り組み、温和な人柄で、職員や利用者の皆さんからも信頼があります。

働きやすい職場づくり ～皆で取り組むコミュニケーション力～

働きやすい・働き甲斐のある職場づくりを目指し、2年前にJOB検討会を立ち上げ、より良い職場環境づくりに取り組んでいます。

今年度は、コミュニケーションのズレを減らすことを目的として、階層・年齢で分かれ、多職種で少人数のグループ討議を行い、現状の課題と取り組む行動について意見交換を行い、改善に取り組みました。

様々なアイデアの中からコロナ禍の課題も考慮し、一般職の取り組みテーマを、①「目を見てあいさつ」、②「表情を意識して接する」、管理職は、①「褒めよう（認めよう）運動」（良いところを探す、週1回は褒める、イエスバット法（YES、YES、BUT）の導入）、②「話掛けやすい雰囲気作り」（笑顔で挨拶、目を見て手を止めて受け答え、部下の意見を最後まで聞く）に定め取り組んでいます。

また、定期的に職員へのアンケート調査もっており、取り組みが成果として表れているか職員からの意見を確認しています。

職員一人一人の笑顔や良い雰囲気を引き出すことで、働きやすい職場づくりに繋がるよう今後も環境改善に取り組んでいきます。



腰痛にならないために

利用者さんに介護を提供する上で職員の健康は必須です。職員が安全で快適に働くことができるように、働き方や職場環境を整備する取り組みをしており、産業医、衛生管理者を配置した安全衛生委員会が、部会ごとに健康管理、メンタルヘルス、交通安全や災害防止などにかかわる活動や、安全衛生教育をしています。

職員の心身の健康管理にかかわる活動をする中で、腰痛予防を目指している衛生部会の取り組みをインタビューしました。

Q、この取り組みを始めようとしたきっかけは何ですか？

衛生部会では研修の実施や、福祉用具、予防体操の導入など、継続して腰痛予防に取り組んでいます。平成30年度に腰痛予防に関するアンケートを実施し、対策を再検討することとなりました。結果、回答者の60%に腰痛がありました。そのうち、腰痛対策として「ストレッチ等を実施している」が30%、「ベルトを使用している」が20%でした。また、産業医より、ベルト使用は腰痛予防に有効という意見もあり、腰痛予防ベルトの購入を助成することとなりました。助成の方法は、着用したい商品を各自が購入し、法人から一定の額を助成することとしました。しかし、当時は申請する職員は少なかったです。

令和元年度から、同じ法人施設である津幡町のふいらーじゅで行っていた方法を参考に、ベルト見本品を回覧し、実際に取ってから選べる方法も取り入れました。

Q、現在各部署でツイストストレッチを行っているが、予防策を体操ではなく腰痛ベルトにしたのは何故ですか？

腰痛体操やストレッチのかわりに腰痛予防ベルトをすすめているという事では無いです。どちらも腰痛には有効です。

Q、腰痛ベルトをする事によるメリットは何ですか？

ベルトのメリットは、一般的に、体を動かす際に腰痛が出そうなときの予防や、体幹を動かす時の固定で痛みが悪化しないようにするためです。（ただしベルトを常用すると腰の筋力の低下につながるというわけでもないです。）

Q、毎回何名くらいの方が注文しますか？

令和元年度28人で、2年度は15人でした。

腰痛を軽く考えず、毎朝部署毎で行っているストレッチや腰痛ベルトを活用し、腰痛予防に繋がりたいと思います。

事例研究発表会を開催

利用者さんへのサービスの質の向上を目指して、3月4日に事例研究の成果を発表しました。

初めてオンラインで開催をし、90名の職員が参加しました。

令和2年度のとりくみテーマ

- ・あつとほーむ若葉(養護)「ボランティア活動を通じた生きがいづくり」～ポイント制度を活用してパート2～
- ・あつとほーむ若葉(特養)「個別支援を行う事で精神・行動障害の軽減を図る」～私の思いを分かち合いたい～
- ・あつとほーむコモド「なじみの暮らし」を継続するために～家族からの情報を活かして～
- ・あつとほーむレガール「花も脳もいきいき！園芸活動」～楽しみから生きがいへ～
- ・「制服の意識調査」～あなたにとつての制服は？～



貴重なご意見をありがとうございます

ご家族より

「職員からばい菌扱いされているので、サービスを利用したくないと言っている。」と連絡があった。おそらくコロナウィルス感染予防の案内文を見て、息子さんが仕事のため県外移動されていることからサービスを控えたいと思われたのではないかとのことであった。

(改善結果)

ご家族には不安な思いをさせてしまったこととお詫び致しました。案内文を配布する際は、丁寧に説明をするようにいたします。

〔令和2年6月1日〕

令和3年2月末まで

ご寄付頂き
ありがとうございます

福祉の向上に心温まる
ご芳志をありがとうございます
いました。

奥村 山海 様
川口 義之 様
エナジー若葉 様

〔令和2年8月〕

令和3年2月末日現在

(順不同)

利用者さんの為になる
ように使用させていただ
きます。皆様の温かい善
意に感謝申し上げます。

ボランティアの受け入れに ついて

新型コロナウイルスの感染予防のため、利用者様の健康と安全を最優先に考慮した対策を続けております。

当面の間、地域の方との交流や、ボランティアの皆様の施設内への来訪を休止させて頂いています。

ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

編集後記

コロナウィルスの対策の中、皆様には感染予防にご協力頂きありがとうございます。

あつとほーむでは、利用者さんの座席の配置を変えたり、資材の納品など利用者のフロアへの出入りを極力抑えるなど引き続き接触をおきないように配慮しています。利用者の皆様には、行事の実施方法を変更しながらも楽しい日常生活を送って頂けるよう試行錯誤しています。

例えば年忘れ会の行事では、大勢が集まらないように仮装した職員が、電線音頭で居室へお邪魔し、ジャンケンチャレンジを楽しんで頂きました。また、ご家族からの心温まるお手紙を利用者さんの居室に飾るなどし、繋がりを感じて頂けるよう工夫しています。

フェイスブックでは、各施設の行事や取り組みを発信しておりますので、ぜひご覧ください。ホームページの「トピックス」からもご覧頂けます。

<http://www.homewakaba.com>

広報委員

小山 真季 今田 京子
打越 利奈 勝山 理美
森田佑利子 谷口 光枝
山崎 加代 近間 育滋
畠 栄子